



## 医師会臨床検査センターだより

No.2018-04  
2019年2月22日

### 風疹急増に関する緊急情報（続報）

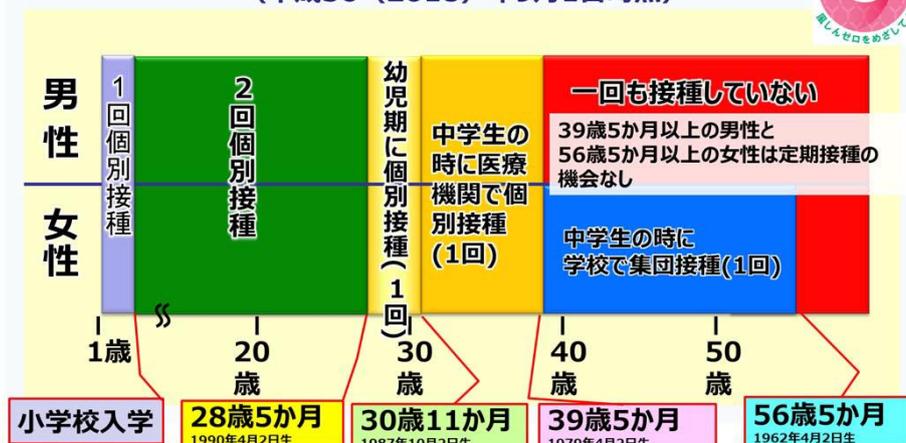
妊婦が風疹に感染し、赤ちゃんが心臓病や難聴、白内障などの障害を持って生まれる先天性風疹症候群(CRS)の男児が埼玉県内で先月に確認されました。同症候群が確認されたのは2014年以來のことです。

風疹患者は昨年夏頃から増え始め、2018年に報告された患者数は2917人で、前年より約31倍増加しています。国立感染症研究所によると、報告患者数の94%が成人で、男性が女性の2.8倍多く、年齢中央値は39歳(10~63歳)で、特に30~40代の男性に多く(全体の62%)、女性患者の年齢中央値は31歳(8~69歳)で、特に妊娠出産年齢である20~30代に多くなっています(全体の65%)。

「風疹に関する特定感染症予防指針(厚生労働省告示第百二十二号)」では、「早期に先天性風疹症候群の発生をなくすとともに、2020年度までに風疹の排除を達成すること」を目標としています。先天性風疹症候群の発生を防ぐためには、妊婦への感染を防止することが重要であり、妊娠を希望する女性はもちろん、パートナーや家族、職場などが一緒になって風疹対策をする必要があります。

厚生労働省は昨年12月11日、風疹の新たな対策として、子供のころに予防接種の機会がなかったために特に感染リスクが高いとされる39~56歳の男性を対象に、2019年から約3年間に免疫の有無を調べる抗体検査とワクチン接種を原則無料にすると発表しました。開始は今春になる見通しで、2020年7月までに現在の39~56歳の男性の抗体保有率を85%以上、2021年度末までに90%以上に高める計画です。

風疹含有ワクチンの定期予防接種制度と年齢の関係  
(平成30(2018)年9月1日時点)



※対象は 1962年4月2日~1979年4月1日 生まれの男性です

※抗体検査で免疫が十分でないと判断された場合、ワクチン接種の対象となります

エボラ出血熱やポリオと聞くと、ちょっと怖いイメージがあります。ところが、それらと同程度に米国に評価された感染症が風疹です。米疾病対策センターは 2018 年 10 月、風疹の免疫がない妊婦は日本に渡航しないよう勧告を出しました。危険度を示す指標は「レベル 2」。コンゴ共和国のエボラ出血熱やニジェールのポリオと同じレベルです。風疹の根絶宣言をしている米国などの先進国から「風疹の輸出国」と指摘されるという不名誉な報告もあります。

専門家の間では、先進国である日本の予防接種制度は、先進国・中進国のなかでは最低レベルと言われています。2007～2008 年に流行し社会問題となった麻疹も、日本以外に目を向けてみると、先進国はもちろん、南米大陸でも撲滅された病気です。流行しているのは日本とアジア・アフリカの発展途上国ぐらいしかありません。

2020 年の東京五輪・パラリンピックに向けて観光面でのマイナスを懸念する声も上がっており、早急な対策が必要です。

参考文献：厚生労働省ホームページ

国立感染症研究所ホームページ

ストップ風疹ホームページ



2019 年 3 月 1 日より、福岡市においては妊婦希望者やその配偶者等を対象に、公費での風疹抗体検査(無料)及び予防接種(自己負担あり)事業が開始されることになりました。

事業の実施登録には説明会への出席が必須となりますので、詳しくは下記までお問い合わせください

福岡市医師会医務課 TEL 852-1504

当検査センターでも 2019 年 3 月 1 日(金)より福岡市『風しん抗体検査』の検査受託を開始します

セット番号	セット名	検査項目
S120	市風疹健診 (HI)	風疹抗体検査 (HI)
S121	市風疹健診 (EIA)	風疹抗体 IgG 検査 (EIA)

※詳細は「INFORMATION」でご案内いたしますので、そちらをご参照下さい

当検査センターで受託している風疹検査

項目コード	検査項目	検体量	報告	実施料	検査方法
4022	風疹	血清(0.2mL)	4～6日	79(免疫)	HI
4157	風疹 IgG	血清(0.2mL)	3～5日	218(免疫)	EIA
4158	風疹 IgM	血清(0.2mL)	3～5日		

※詳細は検査のてびき 142 頁をご参照下さい



福岡市医師会臨床検査センター

〒814-0001 福岡市早良区百道浜 1 目 6 番 9 号

TEL 092-852-1506 (代) FAX 092-852-1510